

JRR-3 の設工認に係る今後の審査対応スケジュールについて

JRR-3 の運転再開については、原子力機構の最優先事項として審査を進めていただいているところです。JRR-3 の適合性確認に係る設工認の審査及び手続の状況は、以下のとおりです。

- ・設工認その1（廃液貯槽漏えい検知、通信連絡設備等）
→5/12 審査会合で議論終了。所内手続き後、補正を提出する。（5/29 までに提出予定）
- ・設工認その10（ケーブル分離、保管廃棄施設等）
→4/20 審査会合で今後の説明方針を説明。8月までに実証試験を実施。実証試験の結果が出てからヒアリング等を再開する。
- ・設工認その11（原子炉本体、原子炉プール耐震評価）
→4/20 審査会合を受け、5/8 補正を提出済。
- ・設工認その12（BDBA 対策設備）
→5/12 審査会合のコメントを反映させ、早急に補正を行う。（5/29 提出目標）
- ・設工認その13
→所内手続きが終了次第、速やかに申請を行う（公開スケジュールでは5/18 提出予定としているが、1週間程度遅れる見込み）。

当面の審査会合及びヒアリングの希望は以下のとおりです。

- 5月 ヒアリング（2回）
 - ・設工認その12（BDBA 設備）コメント回答
- 6月 ヒアリング（4回）
 - ・設工認その13 申請概要説明
- 7月 ヒアリング（2回） 審査会合（1回）
 - ・設工認その13 申請概要説明

また、現在の JRR-3 に関する審査の進捗状況を鑑み、運転再開に必要な許認可案件の審査を優先し、制御棒案内管の製作案件については来年度製作することとし、令和2年12月末を認可取得期限として補正申請することといたします。

以上